

群馬県立高崎高等学校（全日制）学校評価一覧表① 平成31年度(令和元年度)版

(様式1)

羅針盤			方 策		第1回 点検・評価		第2回 点検・評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート	自己評価	外部アンケート
I 3F 精神に根ざす活力ある高生を育成し、活気ある学校づくりを進めていますか。(全体・生徒部)	1 生活規律を確立する。	① 各学期1回挨拶週間を設定する。 ② 移動教室や集会の動き出しを早めてチャイムスタートを徹底する。 ③ 全校生徒のフィルタリングと非公式サイトの未登録を徹底する。	・挨拶をする習慣を身につけさせるために、全職員をあげて挨拶運動を行う。 ・時間に余裕を持った行動を指導する。 ・他者を思いやる行動や言動を身につけさせ、IT機器の適切な利用について指導を徹底する。		A A B	A /	A A B	A /
	2 交通安全を推進する。	④ 雨合羽着用率が100%である。 ⑤ 交通事故の苦情が0件である。 ⑥ 自転車の盗難・いたずら・無施錠が0件である。	・雨天時の雨合羽着用を徹底させる。 ・登下校やマナーアップ運動を通しての交通安全指導を組織的に行う。 ・自転車駐輪場の遵守、施錠の徹底を図る。		A B B	A A /	A A A	A A /
	3 教育相談業務を充実させる。	⑦ 毎週教育相談・生徒部会議を実施することにより、教育相談係を中心にチームとして協力し、教員一人による抱え込みを防止する。 ⑧ 生徒・保護者がSCを有効活用するためのマネジメントを教育相談係を中心に管理する。 ⑨ いじめの発生防止に努め、発生した場合は組織的に対応して100%解消する。	・教育相談係・生徒部会議で情報交換により連携を図り、チームでの支援体制を確立する。 ・SCへ生徒状況の報告、SCからのアドバイスの伝達、SCと生徒・保護者との面接が円滑に行われるようSCとの協働を図る。 ・本校のいじめ防止基本方針の通り、生徒の人間関係の健全な構築を心がけて、いじめの未然防止に努める一方で、発生したときは組織的に迅速に解消する。		A A A	A /	A A A	A /
	4 生徒会活動を充実させる。	⑩ 定期戦アウェイでの第73回大会の勝利と翠徳祭の成功を導く。 ⑪ 部活動加入率の増加・高校総体優勝を実現し、年1回以上の地域の清掃活動と全校生徒による古紙回収を行う。	・生徒会総務及び実行委員等と連携を図り、意思疎通を密に図りながら、各行事の指導・助言を行う。 ・部・部顧問との連携を強化し、施設等の効率的な活用を推進しながら全国大会出場種目を増やし、ボランティア活動を全校で積極的に取り組めるよう、生徒会総務を中心に活動を進め、地域と連携を図っていく。		A B	A B	A B	A A
II 健康と安全への理解を深め、学習環境と教育設備の整備に努めていますか。(保健環境部・事務部)	5 健康な身体と健全な精神を育成するため、自主的・積極的に心身を鍛えることができる資質・能力を養う。	⑫ 「保健だより」を定期的に発行する。 ⑬ 家庭に向けて体調不良時の受診の呼びかけを強化する。	・「保健だより」やその他の健康関連情報を適宜発信する。 ・生徒の健康状態・定期健康診断の結果を踏まえ、必要に応じた処置や受診指導を行う。		A A B	A A	A B	A A
	6 健康的で落ち着いた集団生活を維持するために、安全で衛生的かつ快適な学習環境を整備する。	⑭ 保健委員による校内巡視を毎月実施する。 ⑮ 学習環境が快適であると感じている生徒が80%以上である。	・職員及び生徒保健委員による校内巡視や環境測定を定期的に実施し、衛生的で安全な学習環境を維持する。 ・冷暖房や照明等の適切な使用の指導、及び施設・設備の点検・整美を行い、必要に応じて机や椅子などの入れ替えに対応する。		B A A	A B	B A B	A B
	7 校内美化の推進及びゴミの分別・減量を徹底し、リサイクル活動に取り組み、省エネエコ活動を推進する。	⑯ ゴミの分別を徹底する。	・清美委員によるゴミの分別指導をさらに充実させ、家庭内から持ち込んだ物のゴミの持ち帰りを徹底させる。		B	B	B	B
	8 防災意識を高める。	⑰ 訓練時の行動に関する生徒の自己評価が90%以上である。	・防災避難訓練当日だけでなく、日頃から防災意識を高める。		A	A	A	A
III PTA・同窓会・地域と連携し、本校の教育活動を発展させていますか。(広報渉外部)	9 PTA・同窓会・地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。	⑱ PTA総会の出席率が50%を超える。	・PTA総会の内容を充実させ、PTA総会時の駐車場をさらに確保する。		A	A	A	A
	10 情報管理を徹底した上で、情報モラルについて機会がある毎に職員に情報を提供し、セキュリティ意識の向上を図るとともに、必要な情報は、Webページ等を利用して積極的に発信する。	⑲ 職員の情報セキュリティ意識の向上を図る。 ⑳ Webページを随時更新する。	・機会ある毎に、モラルやセキュリティに関する情報を職員に提供する。 ・Webページ担当者は、早い時期にホームページビルダの利用方法とwebページ更新手続に慣れる。		A A	A A	A A	A A
IV 質が高く、内容が豊かな「力づく授業」を展開し、学力を向上させていますか。(教務部)	11 適切に授業時間を確保し、力づく授業を編成し実施する。	㉑ 行事前(時的)の余裕を持って臨時時間割を提示し、年間行事予定表へ速やかに入れ替えの記載を行い、新学習指導要領に対応する教育課程を編成する。	・行事等における臨時時間割の編成・曜日間の授業の入替え・授業カット時のローテーションを、年間を通して計画的かつ円滑に実施し、教務主任会議を定期的に行う。		B	B	B	B
	12 校内諸活動計画の調整を行う。	㉒ 調整ミスによる直前の計画変更や、当日に中止するという事態を起こさない。	・学年・SSH部・進路部・生徒部との連絡を密にし、学校行事と諸活動を充実した意義あるものにするともに、授業時間を適切に管理する。		A	A	A	A
	13 教員個々及び集団としての教科指導力の向上と授業改善を推進する。	㉓ 教科の枠を超えた教員同士の授業参観と指導方法の研修を年2回以上実施する。 ㉔ 新しいシラバスを評価する生徒が80%以上である。	・教科の枠を超えた教員同士の授業参観と指導方法の研修を推進する。 ・シラバスの活用を促す。		B B	B B	B B	B B
	14 成績処理・各種教務関係書類作成等の事務を正確かつ適正に実行する。	㉕ 教務部の係ごとの打合せ回数を増やす。	・教務関係業務について見直しを進め、ミスを起こさない工夫・手立てを考え、実行に移す。		B	B	B	B
V 3年間を見通したキャリア教育を推進し、進路目標を達成した上で、自己実現を図っていますか。(進路部)	15 高い志を育成し、学ぶ意味を知り、自ら学ぶ生徒を育てる。	②6 学習時間を増大させる。 部で活動中：平日平均学習時間 最低でも2.5時間 部活引退後：平日平均学習時間 最低でも3.5時間 ②7 1年次：志(どのように社会貢献をするか)と夢(何をやりたいか)の明確化を図る。 2年次：学部・学科の明確化と志望大学の決定 3年次：受験大学の決定 ②8 志と夢、志望大・学部・学科を明確化する。 ②9 志、夢を叶えるための具体的道筋を理解させる。	・各授業で、学ぶ意味を共に考える。 ・進路行事・講演会の質を高め、志を育て、夢を育む。 ・各種行事へ積極的に参加させる。 ・各種面接をし、生徒に自信を持たせる。		B B A A A	B A A A	B A A A	B A A
	16 学力・進学実績の向上を達成する。	③0 授業参観・授業研修と生徒によるアンケートを活用する。 ③1 模試の成績を向上させる。 1年次：英数国総合ベネッセ偏差値 65 2年次：英数国総合ベネッセ偏差値 65 3年次：英数国総合ベネッセ偏差値 62 ③2 教師・生徒の信頼関係を向上させる。	・教科指導力を向上させる。 ・現状分析と迅速な対応と3年間を見通した指導を行う。 ・教科・学年内での意思統一と目標を共有する。		A B A	A B A	A A A	A A A
	17 1学年と連携して課題を効果的に運営するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学ぶ態度の基盤を主として課題研究Iの活動を通して育成する。	③3 職員間で具体的に育成すべき生徒を共有できている状態に課題研究Iの指導に職員があたっている。 ③4 ルーブリック評価の分析において、PDCAサイクルを一巡したと自己評価した教員も評価する1学年のグループが70%以上である。	・1学年においてはルーブリックを早期に提示し、職員間の協議の場を研修等で設けることを定例化する。 ・物事を論理的にとらえられるようにするために読書を推奨し、各教科の基礎基本を徹底的に身につけさせ、SSH活動に丁寧に取り組むことにより、その思考力を学習活動に生かせるように指導する。		A	A	A	A
VI SSH事業を効果的に運営するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学ぶ態度を育成していますか。(SSH部)	18 SSHクラスにおいて、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学ぶ態度を主として課題研究IIIIIの活動を通して深化させる。	③5 ルーブリック評価の分析において、PDCAサイクルを一巡したと自己評価した教員も評価するSSHクラスのグループが80%以上である。 ③6 統計学や数理モデルの考え方を活用した課題研究を行うグループが複数現れている。	・2学年においては、1学期の段階で物理化学数学等において2時間単位で終了する簡単な課題研究の型を示しながら、統計学や数理モデルの活用を少人数で示すようなカリキュラムを開発し、実践する。 ・SPの時間だけでなく、上記の内容をSSH物理Iや化学、数学IIBとも連携して実施し、論文やポスターの作成時間を十分に確保する。		A B	A B	A B	A A
	19 スーパーサイエンス部の活動を一層普及させ、科学に対する興味関心を向上させるとともに、自己実現に向けて主体的に学ぶ態度を育成する。	③7 SSH事業を多くの生徒が享受できる状況あり、多くの生徒がSSH事業の課外講座に参加できるようにする。 ③8 科学の甲子園などの科学コンテストにおいて全国大会に出場する団体が2つ以上である。	・スーパーサイエンス部に登録した部員だけに情報を提供するのはなく、全生徒に提供し、講座毎に参加を希望する生徒で行うようにする。 ・科学コンテストの企画内容や意義を発信し、参加へのモチベーションを高めるとともに、競技力の向上について丁寧に指導する。		A B	A B	A A	A A
	20 生徒の読書習慣を早期に育成するとともに、図書館利用の活性化と蔵書管理を徹底する。	③9 貸出冊数が2000冊を超える。 ④0 図書館利用者が月300人以上である。	・新入生への読書オリエンテーション及び授業で図書館を活用することで、読書への関心を高める。 ・読書案内の「群青」を媒介として、教員との読書体験を共有し、生徒の読書週間の充実をめざす。		B	B	B	／
VII 活字に親しませ読書習慣を育むことにより、人間性を豊かにするとともに知力を向上・深化させていますか。(広報渉外部)	21 図書委員会の活動を充実させる。	④1 図書委員会の活動が活発である。	・図書館主催の行事・発行物の充実を図る。		A	A	A	／
	22 SSH課題研究論文の作成を支援する。	④2 SSH関連図書100冊以上収蔵する。	・SSH関連図書の整備と活用促進を図る。		B	B	B	／